



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 雅俊
 問合せ先責任者（役職名） 広報IR部長（氏名） 左柄 正典（TEL）03-3226-2124
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	311,653	2.0	11,819	5.1	12,754	4.2	9,134	18.6
2024年3月期中間期	305,669	5.7	11,242	53.0	12,240	77.8	7,698	234.5

（注）包括利益 2025年3月期中間期 13,465百万円（1.9%） 2024年3月期中間期 13,219百万円（907.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	135.22	—
2024年3月期中間期	113.98	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	435,077	243,352	55.2	3,552.97
2024年3月期	431,222	235,300	53.8	3,436.02

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 240,068百万円 2024年3月期 232,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2025年3月期（予想）期末配当金内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	4.1	19,000	2.9	20,300	2.1	13,600	△30.0	201.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	70,751,855株	2024年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,183,288株	2024年3月期	3,206,771株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	67,552,577株	2024年3月期中間期	67,544,301株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は第2四半期(中間期)決算短信に添付しております。

当社は2024年11月14日(木)にアナリスト、機関投資家向けの説明会を開催する予定です。
この説明会で使用する資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(中間連結損益計算書)	7
(中間連結包括利益計算書)	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

(補足説明資料)

2024年度 第2四半期決算短信 補足説明資料

1. 当中間期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間のわが国経済は、雇用・所得環境が改善する状況下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しており、今後も続くことが期待されます。先行きについては、海外の不透明な金利動向の影響等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクがあります。また、物価上昇や中東地域を巡る情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

食品業界においては、外食需要がインバウンド需要の増加等も受けて、回復傾向にあります。一方で、世界的な原材料価格や物流コストの上昇により、厳しい経営環境が継続しています。また、賃上げ等による所得の改善が、消費マインドへ与える影響は不透明な状況です。

このような環境下、当社グループは「新たな成長のタネづくり」、「基盤活用による物量の拡大」、「国内酪農生産基盤の強化・支援」に向けた取組みを事業戦略の3つの柱とする「雪印メグミルクグループ 中期経営計画2025」を2023年度よりスタートいたしました。

その2年目となる2024年度は、「雪印メグミルクグループ経営方針2024」におけるテーマを「MOVE」とし、(1)新たな成長のタネづくり、(2)基盤活用による物量の拡大、(3)国内酪農生産基盤の強化・支援、(4)基盤戦略の推進、(5)サステナビリティ課題への取組みを重要取組み事項と位置付け、積極的な取組みを進めております。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結経営成績につきましては、売上高は311,653百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は11,819百万円(前年同期比5.1%増)、経常利益は12,754百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は9,134百万円(前年同期比18.6%増)となりました。

セグメントごとの当中間連結会計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品(チーズ、バター、粉乳等)、油脂、ニュートリション事業(機能性食品、粉ミルク等)等の製造・販売が含まれております。

売上高は128,475百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は4,500百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

(売上高の状況)

バターは、昨年12月の価格改定以降もプロモーション活動により、市場を上回る需要を獲得できた結果、前年を上回りました。

油脂は、増量キャンペーンやブランドプロモーションの推進等により、前年を上回りました。

チーズは、主力の「さけるチーズ」や「6Pチーズ」が、プロモーション活動や店頭での露出強化等により大きく伸長しました。その結果、チーズ全体でも前年を上回りました。

機能性食品は、モール型ECサイトでのマーケティング活動等により堅調に推移しました。海外市場においては機能性素材の販売が大きく伸長したものの、粉ミルク等が減収となりました。その結果、ニュートリション事業全体では前年並みとなりました。

(営業利益の状況)

各種プロモーション活動を進めたものの、固定経費の負担増などにより、前年を下回りました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料(牛乳類、果汁飲料等)、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。売上高は136,672百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は4,941百万円(前年同期比33.9%増)となりました。

(売上高の状況)

飲料は、機能的表示食品の「MBPドリンク」シリーズ、大容量タイプの「毎日骨太MBP」、「すっきりCa鉄」、中容量タイプの「雪印コーヒー500ml」、小容量タイプの「DoleLL200ml」等が好調に推移しました。その結果、飲料全体では前年を上回りました。

ヨーグルトは、「牧場の朝ヨーグルト」や「ナチュレ恵megumi」等のファミリーユース商品が好調に推移しました。その結果、ヨーグルト全体でも前年を上回りました。

デザートは、主力の「CREAM SWEETS」シリーズや、「アジア茶房」シリーズ等が好調に推移し、前年を上回りました。

(営業利益の状況)

営業活動の強化をはじめとした、主力商品の販売促進活動の展開等により、増益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。売上高は26,072百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は812百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

(売上高の状況)

配合飼料の販売単価下落による減収が主な要因となり、当セグメント全体で前年を下回りました。

(営業利益の状況)

売上高は減少となりましたが、コストダウンの取組み等により増益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は20,434百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は1,512百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

区分	2024年 3月期末	2025年 3月期中間期	増減金額	主な増減理由
資産	431,222	435,077	3,855	現金及び預金△6,761 商品及び製品+1,483 原材料及び貯蔵品+1,387 投資有価証券+6,507
負債	195,921	191,724	△4,197	支払手形及び買掛金△1,415 短期借入金+2,166 未払法人税等△3,072 長期借入金△2,561
純資産	235,300	243,352	8,052	利益剰余金+3,699 その他有価証券評価差額金+4,033

② キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

区分	2024年 3月期中間期	2025年 3月期中間期	増減金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	10,846	8,496	△2,350	賞与引当金の増減額△756 固定資産除売却損益△1,224 売上債権の増減額+16,257 棚卸資産の増減額△556 仕入債務の増減額△7,619 法人税等の支払額△6,532
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,967	△7,972	995	有形及び無形固定資産の取得による支出△ 906 有形及び無形固定資産の売却による収入 +3,072 敷金及び保証金の差入による支出△1,273
財務活動による キャッシュ・フロー	△9,955	△7,573	2,381	長期借入金の返済による支出+3,506 配当金の支払額△1,341
現金及び現金同等物の 中間期末残高	12,431	22,162	9,730	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,001	22,240
受取手形、売掛金及び契約資産	87,999	86,699
商品及び製品	40,619	42,102
仕掛品	1,047	1,239
原材料及び貯蔵品	17,412	18,799
その他	6,044	6,655
貸倒引当金	△356	△375
流動資産合計	181,767	177,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,741	60,541
機械装置及び運搬具(純額)	56,663	54,777
土地	48,770	47,239
その他(純額)	11,365	14,535
有形固定資産合計	177,541	177,093
無形固定資産		
のれん	441	421
その他	4,058	4,918
無形固定資産合計	4,499	5,340
投資その他の資産		
投資有価証券	53,326	59,834
繰延税金資産	2,873	2,849
その他	11,380	12,765
貸倒引当金	△166	△168
投資その他の資産合計	67,414	75,281
固定資産合計	249,454	257,715
資産合計	431,222	435,077

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,070	61,655
電子記録債務	4,188	4,663
短期借入金	10,206	12,372
未払法人税等	8,633	5,561
賞与引当金	5,933	5,460
その他	30,441	30,452
流動負債合計	122,474	120,166
固定負債		
社債	15,000	15,035
長期借入金	29,054	26,492
繰延税金負債	7,189	7,771
再評価に係る繰延税金負債	3,815	3,815
役員退職慰労引当金	6	6
退職給付に係る負債	8,480	8,527
資産除去債務	1,222	1,289
その他	8,678	8,620
固定負債合計	73,447	71,558
負債合計	195,921	191,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,027	17,027
利益剰余金	167,278	170,977
自己株式	△5,322	△5,264
株主資本合計	198,983	202,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,958	25,991
繰延ヘッジ損益	40	9
土地再評価差額金	8,571	8,571
為替換算調整勘定	1,033	1,319
退職給付に係る調整累計額	1,499	1,436
その他の包括利益累計額合計	33,102	37,328
非支配株主持分	3,214	3,284
純資産合計	235,300	243,352
負債純資産合計	431,222	435,077

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	305,669	311,653
売上原価	255,312	259,276
売上総利益	50,357	52,377
販売費及び一般管理費	39,114	40,557
営業利益	11,242	11,819
営業外収益		
受取利息	15	24
受取配当金	564	455
持分法による投資利益	282	441
その他	654	537
営業外収益合計	1,516	1,459
営業外費用		
支払利息	185	162
ギフト券廃止関連損益	127	-
その他	204	362
営業外費用合計	518	524
経常利益	12,240	12,754
特別利益		
固定資産売却益	15	1,209
国庫補助金	-	58
その他	0	110
特別利益合計	16	1,378
特別損失		
固定資産売却損	4	1
固定資産除却損	495	466
減損損失	186	523
その他	26	66
特別損失合計	712	1,057
税金等調整前中間純利益	11,544	13,075
法人税等	3,714	3,865
中間純利益	7,830	9,209
非支配株主に帰属する中間純利益	131	74
親会社株主に帰属する中間純利益	7,698	9,134

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	7,830	9,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,907	4,026
繰延ヘッジ損益	18	△30
為替換算調整勘定	468	368
退職給付に係る調整額	10	△43
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△64
その他の包括利益合計	5,389	4,256
中間包括利益	13,219	13,465
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	13,030	13,360
非支配株主に係る中間包括利益	189	105

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	11,544	13,075
減価償却費	8,717	8,600
減損損失	186	523
持分法による投資損益(△は益)	△282	△441
のれん償却額	55	74
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	282	△474
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△283	△140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48	14
固定資産除売却損益(△は益)	483	△740
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△110
受取利息及び受取配当金	△579	△480
支払利息	185	162
未収入金の増減額(△は増加)	528	530
売上債権の増減額(△は増加)	△14,102	2,154
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,728	△2,285
仕入債務の増減額(△は減少)	5,761	△1,857
その他	948	△2,580
小計	11,786	16,040
利息及び配当金の受取額	630	540
利息の支払額	△186	△166
法人税等の支払額	△1,384	△7,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,846	8,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△3
貸付けによる支出	△9	△9
貸付金の回収による収入	13	17
有形及び無形固定資産の取得による支出	△8,897	△9,804
有形及び無形固定資産の売却による収入	17	3,089
投資有価証券の取得による支出	△167	△537
投資有価証券の売却による収入	-	249
敷金及び保証金の差入による支出	△7	△1,281
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	244
その他	83	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,967	△7,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△170	121
長期借入金の返済による支出	△5,336	△1,829
自己株式の取得による支出	△3	△5
配当金の支払額	△4,052	△5,393
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△390	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,955	△7,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	170	224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,906	△6,825
現金及び現金同等物の期首残高	20,338	28,988
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,431	22,162

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しています。

これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号2024年3月22日)を当中間連結会計期間の期首から適用しています。

なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当中間連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	126,531	132,059	27,072	285,663	20,006	305,669	—	305,669
外部顧客への売上高	126,531	132,059	27,072	285,663	20,006	305,669	—	305,669
セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,278	47	669	7,995	6,560	14,555	△14,555	—
計	133,810	132,107	27,741	293,659	26,566	320,225	△14,555	305,669
セグメント利益	5,099	3,691	761	9,552	1,656	11,209	32	11,242

- (注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。
 3. セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
 4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	128,475	136,672	26,072	291,219	20,434	311,653	—	311,653
外部顧客への売上高	128,475	136,672	26,072	291,219	20,434	311,653	—	311,653
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,989	47	593	7,630	6,582	14,213	△14,213	—
計	135,464	136,719	26,665	298,849	27,017	325,867	△14,213	311,653
セグメント利益	4,500	4,941	812	10,254	1,512	11,766	52	11,819

- (注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。
 3. セグメント利益の調整額52百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
 4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。